

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 27日

滋賀県知事 殿

提出者

住所 滋賀県東近江市蛇溝町1166-6

氏名 京セラ株式会社滋賀東近江工場

工場長 水嶋 和仁

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号0748-22-1550(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

京セラ株式会社 滋賀東近江工場

事業場の所在地

滋賀県東近江市蛇溝町1166-6

計画期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

電子部品デバイス、電子回路製造用部品
金型、付属品製造

②事業の規模

96,406百万円

③従業員数

東近江工場 3,369人(令和7年4月現在)

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1 【産業廃棄物 処置工程フロー】 を参照ください

(日本工業規格 A列4番)

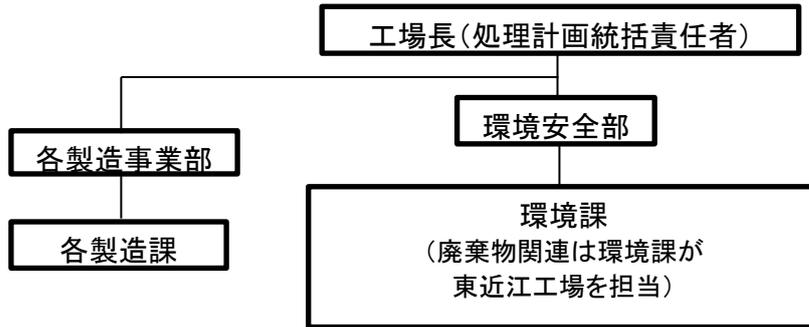
廃棄物の種類	処理工程
廃油	: (社外)焼却、再生燃料、サーマルリサイクル(発電・セメント燃料)
廃酸	: (社外)焼却、サーマルリサイクル(燃料カロリー調整)
廃アルカリ	: (社外)焼却、サーマルリサイクル(燃料カロリー調整)
感染性廃棄物	

【(別紙1) 産業廃棄物 処理工程フロー】

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	} 別紙2の通り	
	排出量		t
	(これまでに実施した取組) 【廃油/廃酸/廃アルカリ】発生工程での使用量削減による発生抑制及び有価物化・分別回収による社内処理化(排水処理場等での処理)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	} 別紙2の通り	
	排出量		t
	(今後実施する予定の取組) 前年度の取り組み継続と計画的な処理実施		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【廃油/廃酸】 分別回収による社内処理化(排水処理場等での処理)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	前年度の取り組み継続

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、優良認定処理業者を選定 ・処分委託先を年1回現地を訪問し、処理や保管状況等を確認(会社全体として対応) 			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・前年度の取り組みの継続 ・収集運搬業者に対しても、法令順守等を中心とした調査を実施予定(工場独自の対応)			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度】(令和6年度)実績		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	183.2 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃油		廃酸		廃アルカリ		感染性廃棄物		合計	
	現 状	計 画	現 状	計 画	現 状	計 画	現 状	計 画	現 状	計 画
	(前年度実績)	(目 標)	(前年度実績)	(目 標)	(前年度実績)	(目 標)	(前年度実績)	(目 標)	前年実績	目標
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
排出量	16.5 t	17.0 t	12.0 t	13.0 t	154.2 t	160.0 t	0.5 t	0.5 t	183.2 t	190.5 t
これまでに実施した取組	発生工程での使用量削減による発生抑制及び有価物化・分別回収による社内処理化(排水処理場等での処理)		発生工程での使用量削減による発生抑制及び有価物化・分別回収による社内処理化(排水処理場等での処理)		発生工程での使用量削減による発生抑制及び有価物化		計画的な処理実施		0.0 t	0.0 t
今後実施する予定の取組	前年度の取り組み継続と計画的な処理実施		前年度の取り組み継続と計画的な処理実施		前年度の取り組み継続と計画的な処理実施		計画的な処理実施		0.0 t	0.0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量									0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組									0.0 t	0.0 t
今後実施する予定の取組									0.0 t	0.0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量									0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量									0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組									0.0 t	0.0 t
今後実施する予定の取組									0.0 t	0.0 t
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の									0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組									0.0 t	0.0 t
今後実施する予定の取組									0.0 t	0.0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
全処理委託量	16.5 t	17.0 t	12.0 t	13.0 t	154.2 t	160.0 t	0.5 t	0.5 t	183.2 t	190.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t	5.0 t	12.0 t	13.0 t	154.0 t	160.0 t	0.5 t	0.5 t	171.0 t	178.5 t
再生利用業者への処理委託量	13.5 t	13.5 t	0.1 t	0.1 t			0.5 t	0.5 t	14.1 t	14.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	2.6 t	2.6 t	12.0 t	12.0 t	130.8 t	131.0 t	0.5 t	0.5 t	145.9 t	146.1 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託									0.0 t	0.0 t
これまでに実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、優良認定処理業者を選定 ・処分委託先を年1回現地を訪問し、処理や保管状況等を確認(会社全体として対応) 									
今後実施する予定の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取り組みの継続 ・収集運搬業者に対しても、法令順守等を中心とした調査を実施予定(工場独自の対応) 									